

長良川の鵜飼

長良川では、金華山山頂の岐阜城を背景に、鵜匠と鵜が一体となって鮎などを採る古典漁法「鵜飼」が、国の重要無形民族文化財となって、毎年5月11日から10月15日の間、毎晩行われている。

私は所要で岐阜を訪れた昭和35年（1960）6月7日、知人の世話で乗合船に同乗し、篝火のもと鵜飼をつぶさに見物し、いまだに目に浮かぶ強い印象を受けた。

この絵は27年12月29日、NHKテレビの鵜の飼育を報じた映像を撮影し成画した。なお、鵜は河鵜より海鵜が飼育に適しているそうだ。 鳥井廣吉

